

# 東京国立博物館ニュース

展示と催し物案内 [第717号]

2013  
2-3



2-3 特別展「飛騨の円空—千光寺とその周辺の足跡—」

4 特別展「書聖 王羲之」 5 [予告]「国宝 大神社展」

6 博物館でお花見を 7 教えて!なぜなにトーハク— 其の6— 8-11 総合文化展 見どころ案内 2月-3月

日本美術の流れ/特集陳列「黒田清輝—水辺をめぐって」/特集陳列「コプティック・テキスタイル—エジプトのコプト信仰が綴った織文様—」

特集陳列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」/新・東洋館 見どころピックアップ! ほか

12-13 みどりのライオン 教育普及事業 [講演会/ワークショップ/子どもたちのアートスタジオ ほか]

14 INFORMATION 15 TOPICS 16 東京国立博物館 2月-3月の展示・催し物

〔特別展〕

飛驒の

# 円空

Enku's Buddhas: Sculptures from Senkoji Temple and the Hida Region

千光寺と  
その周辺の足跡

やくしにょらいりゅうぞう  
薬師如来立像

円空作 江戸時代・17世紀  
総高102.5cm 岐阜・板殿薬師堂蔵  
柔和な笑顔と大きな手が頼もしい  
お薬師様。こわいはやり病からも  
守ってくれるでしょう



かゝらからすてんぐりゅうぞう  
迦楼羅(烏天狗)立像

円空作 江戸時代・17世紀  
総高30.0cm 岐阜・千光寺蔵  
鳥の頭をもつ神。迦楼羅像として伝  
わっていますが、火事から護ってく  
れる秋葉権現の可能性もあります

はちだいりゅうおうぞう  
八大龍王像

円空作 江戸時代・17世紀  
総高16.7cm 岐阜・千光寺蔵  
とくろを巻いた龍。龍は雨を  
降らせる力があると信じられ  
ました。恵みの雨は生活を左  
右します



さんじゅうさんかんのりゅうぞう  
三十三観音立像

円空作 江戸時代・17世紀  
総高61.0cm ~ 82.0cm  
岐阜・千光寺蔵  
近くの家に病人が出ると1体借りて  
枕元に置き、治癒を祈ったそうです

2メートルを超す大作から5センチほどのものまで、  
飛驒の人々へのお礼として作った仏たち！

2013年1月12日(土) — 4月7日(日) 本館特別5室

円空は生涯旅に生きました。ふだんは木の実や野草、キノコなど山の恵みを食べ、洞窟で過ごすことが多かったのではないのでしょうか。もちろん寺に逗留することもありました。また、千光寺の住職とは親しくしていたといえます。地面に生えたままの木にはしごを掛けて彫った金剛力士(仁王)立像は、阿形と吽形と二体あります。同じ大きさの木が二本並んでいるのを見て彫ろうという発想が浮かんだので

しょう。時には集落で宿を借り、食べ物で御馳走されたこともあったはず。そうした村の人々との交流で造った仏像は小さなものが多いのですが、普通の仏師がつくる像とは違い、独特です。人々の日々の祈りは、食べ物に困らないこと、病にかからないことでした。さて、施しを受けた円空は御礼にどんな像を造ったでしょう。

(浅見龍介)

## 関連事業

### 記念講演会

②3月9日(土)13:30～15:00  
「飛驒人と円空の祈り」  
大下大圓(千光寺住職)

会場:平成館大講堂

定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合抽選)

聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途、入館料が必要)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・講演会番号②を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込ください。

\*1枚のはがきて、1つの講演会につき、最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込先:〒104-8325 (住所不要)読売新聞東京本社文化事業部「飛驒の円空」講演会②係  
申込締切:2月6日(水)必着

### 井浦新トークイベント&夜間貸切鑑賞会

日時:2月12日(火)18:30～20:00(予定)

※トークイベントは18:30～19:15頃を予定

会場:平成館大講堂

チケット価格:2,500円(全席自由)

内容:本展の音声ガイドを担当する俳優/クリエイターの井浦新さんと、本展担当学芸員の浅見龍介による、円空仏の魅力に迫るトークイベント。参加者だけの夜間貸切鑑賞会も実施

チケット販売所:チケットぴあ

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

### ワークショップ「円空にちかづく」

「木を割る」ことは円空仏をつくる第一歩。現代の仏師と一緒に体験してみましょう。

日時:3月10日(日) ①10:30～11:30 ②13:30～14:30

会場:平成館小講堂

対象:①小・中学生(保護者も可。ただし申込の状況により保護者の参加をご遠慮いただく場合もございます)

②一般(高校生以上)

定員:①②ともに15名(応募者多数の場合には抽選)

参加費:無料(ただし本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は当日の入館料が必要です)

申込方法:当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込ください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加希望日、(2)参加者全員(保護者を含めて3名まで)の氏名・ふりがな、年齢、(3)住所、郵便番号、(4)代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の住所・郵便番号・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

申込先:〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9  
東京国立博物館 教育普及室「円空ワークショップ」係

締切:①②ともに2月24日(日)必着

※回によって対象が異なりますのでご注意ください。

※実施の3日前までに受講可否の連絡がない場合にはお電話でお問合せください。(電話03-3822-1111(代表))

## 託児サービスはじめました

子育て中のお客様にも博物館をゆっくり楽しんでいただくため、特別展「飛驒の円空—千光寺とその周辺の足跡—」及び特別展「書聖 王羲之」開催期間中の1～2月の9日間に、0歳～未就学児を対象とした託児サービスを実施いたします。皆様のご利用をお待ちしています。

実施日時:1月22日(火)、1月24日(木)、1月26日(土)、2月5日(火)、2月7日(木)、2月10日(日)、2月19日(火)、2月21日(木)、2月23日(土)

\*いずれも12:30～15:00(事前予約制)

ご予約・お問合せ:電話0120-788-222(業務委託先:株式会社マザーズ)

詳細につきましては当館ウェブサイト、または館内で配布中のチラシをご参照ください。

## 特別展「飛驒の円空

### —千光寺とその周辺の足跡—

1月12日(土)～4月7日(日)

本館特別5室

主催:東京国立博物館、千光寺、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション

特別協力:高山市、高山市教育委員会

後援:岐阜県

観覧料金:一般900円(800円)、大学生700円(600円)、高校生400円(300円)

\* ( )内は20名以上の団体料金。中学生以下無料

\*障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会ホームページ <http://enku2013.jp/>



うがじんぞう  
宇賀神像

円空作

江戸時代・17世紀

総高19.8cm

岐阜・千光寺蔵

蛇のからだに老人の顔をもつ食物の神です。豊かな収穫を祈って作られたのでしょ

にょらいざぞう  
如来坐像

円空作 江戸時代・17世紀

総高5.1～5.8cm 岐阜・千光寺蔵

これらの小さな像は家ごとにわたしたよ



こんごうりきし に おう りゅうぞう うんぎょう  
金剛力士(仁王)立像 吽形

円空作 江戸時代・17世紀

総高226.0cm 岐阜・千光寺蔵

立ち木に彫刻した像。口を開いた阿形は顔が割れていて輸送困難なので残念ながら留守番

(参考図版)



近世崎人伝 第2巻

伴高暎著 三熊忠孝画

江戸時代・寛政2年(1790)

東京国立博物館蔵

円空が立ち木に彫刻している場面を描いた挿

この作品は出品されません

# 書聖

WANG XIZHI: Master Calligrapher

# 王羲之

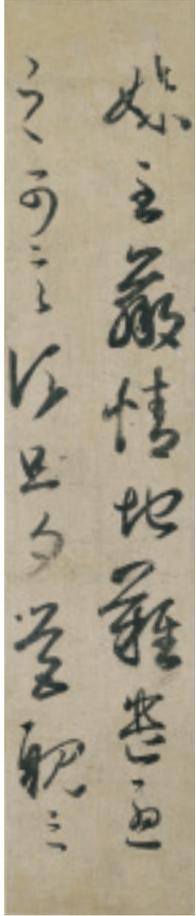
## 書を芸術へと高めた王羲之

中国四世紀の東晋時代に活躍した王羲之(三〇三〜三六一、異説あり)は、従来の書法を飛躍的に高めました。王羲之の書は、その没後も歴代の皇帝に愛好され、唐時代の初めには、王羲之信仰というべき状況を形成します。王羲之の書は一点も現存しませんが、東アジアの漢字文化圏に極めて大きな影響を与えました。この展覧会は、蘭亭序をはじめとする王羲之にまつわる名品を一堂に集め、その偉大な業績を紹介するとともに、最も信憑性の高い資料を通して、王羲之の書の実像に迫ろうとするものです。また後半では、王羲之が後世に与えた影響を概観します。本展を通して、書聖王羲之の魅力をご堪能いただき、書とは何かを改めて考える機会としていただければ幸いです。

(富田淳)

### 殊至帖

原跡:王羲之筆  
唐時代:7~8世紀模  
個人蔵  
展示期間:2月13日(水)  
~3月3日(日)  
この王羲之の書の精巧な模本は、昭和48年に手鑑の中から発見されて、世の注目を集めました



2013年1月22日(火) — 3月3日(日) 平成館

書の神様と崇められ、書に影響を与えること千年以上、今は失われた王羲之の書とはどんなものだったのか？そして、後世に与えた影響はどんなものだったのか？王羲之展の決定版、開幕しました。

### 王羲之の書の実像



王羲之の真跡が一点も現存しない今日、王羲之の字姿を伝える資料には、模本と拓本があります。模本は唐時代に、拓本は宋時代に、最も高い水準に到達しました。なかでも、唐の初めに宮廷で作られた精巧な模本は、王羲之の書の実像を最も良く伝えるものと考えられています。今回、世界にわずかししか現存しない精巧な模本から、選りすぐりの作品が特別に出品されています。



原跡:王羲之筆 唐時代:7~8世紀模 宮内庁三の丸尚蔵館蔵  
展示期間:1月22日(火)~2月11日(月・祝)  
奈良時代に舶載された、王羲之の精巧な模本の一つ。江戸時代には、もっと長い巻物でした

### さまざまな蘭亭序



永和九年(三五三)三月三日、会稽郡の長官を務めていた王羲之は、風光明媚な蘭亭に名士四十一人を招き、詩会を開きました。王羲之が詩会の序文を書くと、素晴らしい出来ばえ。これが世に名高い蘭亭序です。十二世紀の南宋時代、文人たちは一家に一本の蘭亭序を作り、著名な蘭亭序が八百本も存在しました。名家旧蔵の由緒ある蘭亭序を集め、絢爛たる美の競演をお見せします。

#### 蘭亭図巻—万曆本—

原跡:王羲之等筆  
明時代:万曆20年(1592)編  
東京国立博物館蔵  
北宋の画家、李公麟が描いた絵をもとに、明時代に作成した拓本。蘭亭の雅会の盛況ぶりを伝えます

#### 定武蘭亭序—許彦先本—

王羲之筆  
原跡:東晋時代:永和9年(353)編  
東京国立博物館蔵  
拓本の後ろに、北宋時代の許彦先が1072年9月4日に見たという書き付けが残されています



王羲之の書法を受容と展開

唐時代以降も、王羲之の書は常に理想の字姿として崇拝されました。王羲之の真跡が時代の変遷で失われていくなかで、人々はその時代ごとに理想とすべき王羲之の像を追求します。宋・元・明・清の各時代において、王羲之はどのように受容され、人々はそのような書を理想としたのでしょうか。十八世紀に、王羲之を神聖視する価値観が崩壊するまでの歴史をたどります。



●真草千字文 智永筆 隋時代・7世紀 個人蔵  
王羲之の7代目の子孫、智永は、800本もの真草千字文を書いて諸寺に奉納しました。千字文はすべての文字が異なる4字1句の四言、250句からなり、習字の手本とされるものです。

関連イベント

席上揮毫会 (書のデモンストレーション)

王羲之の傑作「蘭亭序」などを題材に、毎日書道会を代表する現代作家が実技を披露します。

日時: 1月31日(木) 14:00 ~ (2時間程度) 会場: 平成館ラウンジ  
演者: 石飛博光氏、片岡重和氏、辻元大雲氏、中原孝秋氏、宮崎紫光氏  
対象: どなたでもご参加いただけます。  
参加費: 無料 (ただし当日の入館料は必要です)

ワークショップ「王羲之の複製を作ろう」

王羲之作品「行穰帖」で精巧な模本作りの手法である双鉤填墨に挑戦。書家山中翠谷氏(独立書人団体事務理事)が指導いたします。

日時: 2月13日(水) 14:00 ~ (1時間半程度)  
会場: 平成館小講堂 対象: 一般(高校生以上)  
定員: 30名(往復はがきによる事前申込制。応募者多数の場合抽選)  
参加費: 無料 (ただし特別展観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途入館料が必要です)  
申込締切: 1月31日(木) 必着

席上揮毫会およびワークショップに関する詳細は、当館ウェブサイトをご確認いただくか、下記までお問合せください。

お問合せ: 毎日新聞社事業本部「王羲之展イベント」係 電話 03-3212-0189  
企画協力: 毎日書道会

特別展「書聖 王羲之」

1月22日(火)~3月3日(日) 平成館

主催: 東京国立博物館、毎日新聞社、NHK、NHKプロモーション  
特別協力: 朝日新聞社

後援: 外務省 特別協賛: 大和ハウス工業  
協賛: あいおいニッセイ同和損保、トヨタ自動車、日本写真印刷、ゆうちょ銀行  
協力: 内田洋行、全日本空輸、東京中国文化センター、二松学舎大学、毎日書道会  
観覧料金: 一般1,500円(1,200円)、大学生1,200円(900円)、高校生900円(600円)  
\*( )内は20名以上の団体料金。中学生以下無料  
\*障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。  
お問合せ: ハローダイヤル 03-5777-8600  
展覧会ホームページ: <http://www.o-gishi.jp/>

「予告」

国宝 大神社展

全国の神社パワーがここに。空前絶後の神道美術展!

2013年4月9日(火)~6月2日(日) 平成館

初もうでやお祭りでお祭りを足をはこぶ神社。社に大切に伝えられてきた宝物や日本の神々に関する文化財を総合的に展覧する「国宝 大神社展」を開催いたします。

祭神の調度としてささげられた古神宝、神社の由緒や風景をえがいた縁起絵巻や宮曼荼羅、活気に満ちたお祭りの様子を彷彿とさせる祭礼図屏風、目には見えない神の姿をあらわした神像まで、国宝や重要文化財約百六十件を含む、かつてない規模の展覧会です。

(池田宏)



●表着 白地小葵鳳凰模様二陪織  
鎌倉時代・13世紀 神奈川・鶴岡八幡宮蔵 展示期間: 4月9日(火)~5月6日(月・休)  
小葵の地模様を背景に、多色の鳳凰が飛翔する最古の女神用の装束



●家津美御子大神坐像  
平安時代: 9~10世紀  
和歌山・熊野速玉大社蔵  
熊野速玉大社に伝わる4体の国宝神像のうちの1体

関連イベント

記念講演会

- ① 4月27日(土) 13:30 ~ 15:00  
「神社と日本人」  
田中恒清(神社本庁総長・石清水八幡宮宮司)
- ② 5月11日(土) 13:30 ~ 15:00  
「古神宝の装束と武具」  
池田宏(上席研究員)  
会場: 平成館大講堂  
定員: 380名(事前申込制、応募者多数の場合抽選)  
聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途、入館料が必要)  
申込方法: 往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演会番号(①②のいずれか)を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込ください。  
\*1枚のはがきで、1つの講演会につき、最大2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。  
申込先: 〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-15 日本自転車会館1F I & You内「大神社展」講演会(希望する講演会番号①②のいずれか)係  
申込締切: ① 3月13日(水) 必着  
② 3月27日(水) 必着

「国宝 大神社展」

4月9日(火)~6月2日(日) 平成館

主催: 東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション  
特別協力: 神社本庁  
協力: 千年の森フォーラム  
協賛: あいおいニッセイ同和損保、大日本印刷、トヨタ自動車  
観覧料金: 一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)  
\*( )内は前売り/20名以上の団体料金。中学生以下無料  
\*前売券の販売は4月8日(月)まで、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、チケットぴあ(Pコード=765-441)、ローソンチケット(Lコード=33777)、セブンチケット(セブンコード=020-057)ほか、主要プレイガイドにて販売。  
\*お得な早割ペア券(2枚1組セットで2,000円)を、東京国立博物館正門チケット売場(窓口、開館日のみ)、チケットぴあ(Pコード=早割ペア:765-442)ほか、主要プレイガイドにて3月10日(日)まで期間限定販売。  
\*障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。  
お問合せ: ハローダイヤル 03-5777-8600  
展覧会公式ホームページ <http://daijin.ja.jp/>

# 博物館でお花見を



桜花爛満のこの時期、上野の山は大変な賑わいですが、静かにお花見を楽しみたい方には東京国立博物館が最適です。桜といってもソメイヨシノだけではなく、正門を入ると桜色の噴水のようなヨシノシダレがお迎えします。本館北側の庭園にはミカドヨシノ、オオシマザクラ、エドヒガンシダレなどさまざまな種類の桜があります。人びとは、昔から桜を愛で、ひとときの華やかな気分を享受してきました。ここからがトータルのお花見ならでは。

本館展示室では、数かずの絵画や工芸品に描かれた桜たちが、あちこちで妖艶な姿を就っています。なかでも国宝の花下遊楽図屏風は、江戸時代十七世紀の、お花見のようすを描いたものです。楽器をかなで、歌い、舞い、かたわらでは宴の準備がなされています。

花を愛で、作品に親しみ、そしてさまざまなイベントをお楽しみください。

(伊藤信二)



おつかかごびじん  
桜下駕籠美人  
鈴木春信筆  
江戸時代・18世紀  
本館10室 3/26(火)～4/21(日)

桜のもとに駕籠を休める2人の娘の、可憐な姿が印象的です



うちかけ しろりんずじしだれ桜(はな)花車模様の打掛  
白綾子枝垂桜花車模様の打掛  
江戸時代・18世紀  
本館8室 2/26(火)～4/21(日)

刺繍で模様を表した打掛。しだれ桜が上半に大きく広がっています

かかゆりくすびりょうぶ  
●花下遊楽図屏風 左隻  
狩野長信筆  
江戸時代・17世紀  
本館2室 3/19(火)～4/14(日)  
花の下で舞い踊り、宴を楽しむさまが、いきいきと描かれます



## 関連事業

### 桜ワークショップ

#### 「おさらに描く桜」

作品に描かれた桜を鑑賞し、それをヒントにお皿をデザインしてみませんか？

事前申込制 ウェブサイトフォーム、  
往復はがき

- ① 3月30日(土) 10:00～12:30
  - ② 4月6日(土) 13:30～16:00
- 平成館小講堂  
対象：一般(高校生以上)  
定員：各回20名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：無料(ただし当日の入館料は必要、後日作品受取にかかる費用もご負担いただきます)

申込方法：当館ウェブサイト上のフォームにご記入いただくか、往復はがきの「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな (2)代表者の住所・郵便番号 (3)代表者の電話番号 (4)参加希望日を、「返信用表面」に代表者の住所・郵便番号・氏名を明記して、下記申込先へお送りください。

申込先：〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育普及室「桜ワークショップ」係

締切：①②ともに3月7日(木) 必着  
\*制作には絵付け用のサインペンを使用します。  
\*作品は後日、焼成後にお渡します。ご来館のうえでお渡し、もしくは着払いでの発送のどちらかをワークショップ当日お選びいただけます。  
\*当落に関わらず連絡いたします。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、教育普及室に電話でお問合せください。  
お問合せ：電話 03-3822-1111(代表)



事前申込制の事業について  
ご応募の際ご提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用し、終了後はすみやかに破棄します。

### 桜セミナー

#### 「日本の四季と共に楽しむ野菜スイーツ」

最近注目の野菜スイーツには旬の食材が不可欠です。そして食は昔から絵画の題材にもなっています。野菜に関連する絵画を交えながら、旬の野菜の素晴らしさや魅力を学びましょう。

事前申込制 ウェブサイトフォーム、  
往復はがき

3月30日(土) 13:30～14:30

平成館大講堂  
講師：柿沢安那(野菜スイーツ専門店「パティスリーボタジエ」オーナーパティシエ)

定員：380名(事前申込制。お申し込みは1枚の往復はがきで2名まで可能)

聴講料：無料(ただし当日の入館料は必要)  
申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな (2)代表者の住所・郵便番号 (3)代表者の電話番号、「返信用表面」に代表者の住所・郵便番号・氏名を明記して、下記申込先へお送りください。

申込先：〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育講座室「桜セミナー」係

締切：2月28日(木) 必着  
特典：参加者全員に、野菜スイーツ専門店「パティスリーボタジエ」の試食用焼き菓子をプレゼント。事前にお申し込みいただいたお客様の中から、抽選で5名様に野菜スイーツ専門店「パティスリーボタジエ」のギフトセットプレゼント。



### 鑑賞ガイド

#### 「国宝 花下遊楽図屏風」

初めて「花下遊楽図屏風」をご覧になる方のための、見どころ案内

3月27日(水)、4月3日(水)、4月10日(水) 各回とも10:30～11:00

東洋館 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

講師：伊藤信二(教育普及室長)

#### 列品解説

##### 「器に咲く桜」

3月27日(水) 11:05～11:35  
東洋館 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

講師：横山梓(特別展室研究員)

##### 「絵に咲く桜」

4月3日(水) 11:05～11:35  
東洋館 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

講師：田沢裕實(絵画・彫刻室長)

##### 「キモノに咲く桜」

日時：4月10日(水) 11:05～11:35  
東洋館 TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

講師：小山弓弦(工芸室主任研究員)

#### 東博旬見

##### 「花見で一句」

当館の庭園や作品の桜について、一句詠んでみませんか？ 構内に設置してある投句ポストで応募できます。

入選作品：本誌8・9月号、当館ウェブサイトにて発表いたします。

#### 桜コンサート

##### 「桜の街の音楽会」

今年も「東京・春・音楽祭」参加アーティストがトータルに春の調べをお届けします。

##### ◆Vive! サクソフォン・クワルテット

3月15日(金) 11:00～11:20、13:00～13:20  
3月17日(日) 13:00～13:20

4月5日(金) 11:00～11:20

正門内池前 \*雨天の場合は本館エントランス

#### ボランティアによるガイドツアー

本館ハイライトツアー、樹木ツアー、陶磁ガイドなど期間中の各ツアーで桜の木や桜に関連した作品を取り上げてご案内します。詳細は裏面カレンダーをご覧ください。

#### ◆ボランティアによる転合庵桜茶会

庭園のお茶室でお茶をお召し上がりください。

事前申込制 ウェブサイトフォーム、  
往復はがき

3月23日(土) 庭園内転合庵

- ① 10:30～11:10 ② 11:30～12:10
- ③ 12:30～13:10 ④ 13:30～14:10
- ⑤ 14:30～15:10 (各回とも40分、同じ内容)

集合：本館1階エントランス

対象：一般(高校生以上)

定員：各回10名(応募者多数の場合は抽選)

参加費：500円(入館料は別途必要)

申込方法：当館ウェブサイト上のフォームにご記入いただくか、往復はがきの「往信用裏面」に(1)参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・年齢 (2)参加者全員の住所・郵便番号 (3)代表者の電話番号 (4)①～⑤のうちご希望の時間帯を1つ (5)座椅子が必要な方はその旨を明記して、下記申込先へお送りください。

申込先：〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館 ボランティア室「3月23日転合庵茶会」係

締切：2月25日(月) 必着

\*荒天の場合は中止になることもあります。

#### ◆ヴァイオリンによる無伴奏

3月31日(日) 13:00～13:20

4月4日(木) 13:00～13:20

法隆寺宝物館エントランスホール

料金：無料(ただし当日の入館料は必要です)

主催・お問合せ：東京・春・音楽祭実行委員会

電話 03-3296-0600

http://www.tokyo-harusai.com/

教えて！

# なぜなに

# トーハク

— 其の6 —

連載第6回は、東京国立博物館の  
収蔵作品が、どのように保管されて  
いるのかについて紹介します。

おはにちは！  
ほくトーハクくん。



トーハクくん

こんにちは、  
ユリノキちゃんです。  
今日は特別に、  
収蔵庫に保管している作品  
を見に行きます。



ユリノキちゃん

## Q 作品はどうやってしまっているの？

トーハクの作品は  
ほくの友達。みんなは  
収蔵庫で寝てるんだほ。



そうね、みんな安全で  
快適に休んでいるわね。

### 温湿度管理された空間と 伝統の桐箱や風呂敷が作品を守る

トーハクが所蔵する11万件にも及ぶ収蔵品は、ジャンルごとに収蔵庫に収められ、さらに細かい分類に分けられて整理整頓されています。

収蔵庫は、温度20〜24度、湿度50〜60%に設定されるなど、管理に細心の注意が払われています。例えば乾燥に弱い漆工などは湿度を高めにするなど、各ジャンルの作品の特性によって室内全体が適した環境に保たれているのです。

個々の作品は、作品の材質や形状にあわせて、専用の棚やケースに収められています。伝統的に重用されるのは、防湿、断熱、防虫、抗菌などの作用がある桐の箱です。中には、箱自体やそれを包む風呂敷も文化財として価値があるものも。由緒を伝える箱書が残っていたり、かつての所蔵者が趣向を凝らした様子が残っていたりするので。その場合は箱ごと入る、もうひとつ回り大きな箱を作って収めます。皆さんの目に触れることはありませんが、さまざまな工夫を凝らして作品を保護、管理し、作品を保存しています。

陶磁作品の保管の一例：「色絵梅花文茶碗」（仁清作 江戸時代・17世紀 広田松繁氏寄贈）



5. ようやく作品が出てきます



4. 箱の中には特別にあつらえられた縮緬の仕覆を着せた茶碗



3. 箱の中には再び風呂敷に包まれた箱が。仁清と書かれた古いもの



2. 風呂敷を解くと、桐箱と書付が包まれていました



1. 一番外は風呂敷包み。古渡更紗の貴重なもので、寄贈者のこだわりが感じられます

ほー。厳重に保管されているんだほ。



付いている青いタグには、作品の状態、展示・貸出の履歴などが記されているの。情報管理も研究員さんの大事な仕事なのよ。

そうなの。中には三重の箱にしまっている作品もあるんですって！



ほくも収蔵庫でひと休みしてくるほ

いいなあ、私も収蔵庫にお部屋を作ってもらっちゃおうかしら

太巻き  
おいしそうなの



掛軸作品の保管の工夫：太巻き  
本来の軸をおおう太い軸を新しくあつらえ、そこに巻きつけて収納します。細い軸に巻くことによる紙の負担、作品の劣化を軽減しています。

平安時代から江戸時代までに用いられた刀剣や甲冑などの武具に加えて、武士の肖像画や書を展示します。



◎**紺糸威南蛮胴具足** 必見  
安土桃山時代・16世紀  
徳川家康の四天王の一人、榊原康政が家康から拝領した具足です

### 4 茶の美術

日本の伝統文化である茶の湯のなかで育まれた美術を紹介します。

2/26 火  
5/19 日

◎**竹一重切花入 銘 園城寺** 必見  
千利休作 安土桃山時代・天正18年(1590)  
松平直亮氏寄贈  
豊田秀吉の小田原東征の折、千利休が伊豆菰山の竹で作りました



2/24 日  
◎**志野茶碗 銘 橋姫** 必見  
安土桃山～江戸時代  
16～17世紀  
松永安左工門氏寄贈  
耳庵愛蔵の茶碗で、大振りで力強い作風が特徴的です



2/13 水 - 3/24 日  
◎**雪景山水図** 必見  
山本義章氏寄贈  
伝周文筆  
室町時代・15世紀  
もとは障壁画とみられる大きな掛幅です

2/11 月・祝  
◎**四季山水図屏風** 必見  
伝周文筆  
室町時代・15世紀  
この時期の水墨画としては珍しく、女性の姿が描かれています



### 3-3 禅と水墨画 — 鎌倉～室町

禅宗の本格的導入にともない成立した水墨画と墨跡をご覧ください。

### 3-2 宮廷の美術 — 平安～室町

宮廷貴族社会を中心に育まれたやまと絵や書、調度品の世界。

2/13 水 - 3/24 日

◎**為氏本三十六歌仙絵巻断簡** 必見  
鎌倉時代・14世紀  
穏やかな表情をたたえる歌聖の姿。書の筆者は「歌合切」と同じ藤原為氏とされています



◎**歌合切** 必見  
伝藤原為氏筆 鎌倉時代・13世紀  
唐草文様などが雲母摺りされた美しい料紙に歌合が書写されています



2/11 月・祝  
和歌や物語の享受と密接に関わる鎌倉時代の景物画を展示します。



◎**山水屏風** 必見  
鎌倉時代・13世紀 京都・神護寺蔵  
平安絵画の遺風を留める、現存最古のやまと絵屏風

2/13 水 - 3/24 日  
2月15日の涅槃会にちなんだ涅槃図などを展示します。



◎**仏涅槃図** 必見  
平安時代・12世紀  
お釈迦様の命日に行われる涅槃会の本尊として用いられた画像

◎**銅梅竹透鈿燈籠** 必見  
室町時代・天文19年(1550)  
千葉市中央区千葉寺町千葉寺址出土  
畑野勇治郎氏寄贈  
梅樹と竹の透しが美しい。茶の湯釜で名高い天命産と考えられています



◎**賢者五福徳経(神護寺経)** 必見  
平安時代・文治元年(1185)  
松永安左工門氏寄贈  
鳥羽院勅願、後白河院寄進になる紺紙金字一切経の代表的作例

### 3-1 仏教の美術 — 平安～室町

絵画、彫刻、書跡など、日本仏教美術の多様で多彩な世界をご覧ください。

2/11 月・祝  
◎**一遍上人伝絵巻** 必見  
鎌倉時代・14世紀  
長野・金台寺蔵  
雪の松島の場面は見どころです

### 2 国宝室

### 2 国宝室

絵画・書跡の名品をゆったりとした空間で心静かに鑑賞していただくための展示室です。

2/13 水 - 3/17 日

◎**群書治要 卷二十二** 必見  
平安時代・11世紀  
中国・唐時代に編纂した政治参考書で、唐代の政治思想を知る上で貴重な書

3/19 火 - 4/14 日  
◎**花下遊楽図屏風** 必見  
狩野長信筆 江戸時代・17世紀  
花の宴の楽しさが画面からあふれます。人物の美しい衣装にも注目



### 1-1 日本美術のあけぼの — 縄文・弥生・古墳

日本美術の原点として縄文から古墳時代の代表作品を紹介します。

5/6 月・休  
縄文土器や土偶、銅鐸や埴輪などから各時代の造形美の変遷を追います。



◎**鬼瓦** 必見  
奈良時代・8世紀  
愛知県愛西市淵高町 淵高廃寺出土  
邪悪を払う瓦。いかめしくもひょうきんな不思議な顔をした瓦です

◎**須惠器 台付長頸瓶** 必見  
古墳(飛鳥)時代・7世紀  
三重県鳥羽市答志町 蟹穴古墳出土  
川原松蔵氏寄贈  
表面にかかる深い緑色の自然釉と端正なたたずまいが美しい壺です

### 1-2 仏教の興隆 — 飛鳥・奈良

飛鳥時代から奈良時代にかけての仏像や経典など、古代の仏教美術を紹介します。

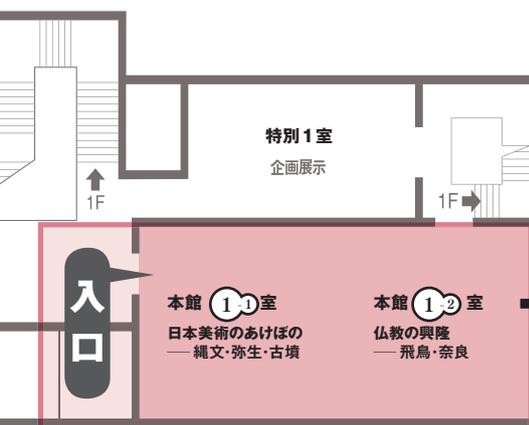
3/24 日  
◎**等目菩薩経巻中(吉備由利願経)** 必見  
奈良時代・天平神護2年(766)  
反町英作氏寄贈  
大ぶりの堂々とした文字で書写した奈良時代後期を代表する写経です

◎**釈迦如来坐像** 必見  
奈良時代・8世紀  
奈良・西大寺蔵  
奈良時代の四仏で現存する唯一の作例。いかり肩で膝が角張り厚い点の特徴です



# 術の流れ

## 江戸まで、どる日本美術史



7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

大画面の作品から生み出される空間の広がりを感じとってください。

2/26 火 — 4/7 日

穏やかな空気を感じさせる中国名勝の春景色などを展示します。

必見

◎西湖春景・銭塘 観潮図屏風

池大雅筆 江戸時代・18世紀  
海面におどる藍や黄の透明感が陽光の動きをとらえています



2/24 日

◎山水図屏風

山々と大河が柔らかな光で包まれています



5

6

武士の装い — 平安～江戸

4/14 日

◎朱漆金蛙巻大小

安土桃山時代・16世紀  
豊臣秀吉の指料で、朱塗の鞘に金板を螺旋状に巻いた華やかな拵です



8-1

暮らしの調度 — 安土桃山・江戸

安土桃山から江戸時代に人々の身の回りを飾った調度や器を展示します。

3/24 日

おめでたい文様や、冬の寒さに耐える植物を主題にした作品をご覧ください。



◎水仙七宝釘隠

江戸時代・17～18世紀  
花びらや蕾、葉先の微妙な色合いまで、釉薬で表現されています

必見

◎松竹梅堆朱盆

堆朱楊成作 江戸時代・18世紀  
堆朱楊成は、代々將軍家の用命を受け、堆朱の技を伝え続けた家柄です

必見



必見

◎色絵椿松竹梅文透入重蓋物

京焼 江戸時代・18世紀  
器の内面にも、各段に松・竹・梅を金彩も交えて華やかに描き、めでたさに満ちています

8-2

書画の展開 — 安土桃山・江戸

さまざまな表現で広がる豊かな視覚文化の時代を体感してください。

2/24 日

季節にかかわる花鳥図とともに、狩野派、琳派など各流派の人物図をご覧ください。

◎真草千字文

近衛家照筆 江戸時代・18世紀  
植村和堂氏寄贈  
江戸前期の公家の学芸を代表する家照の筆跡



◎呉美人図

長沢芦雪筆 江戸時代・18世紀  
細やかな描写に気品漂う芦雪会心の女性像

必見

2/26 火 — 4/7 日

さまざまな絵画作品にとりあげられた多様な桜の表現を中心に展示します。

◎渡唐天神自画像

近衛信尹筆 安土桃山時代・17世紀

信長・秀吉による天下一統の激動期を生きた信尹の奔放な人柄をよく表わした自画像です



◎源氏物語絵合・胡蝶図屏風

狩野晴川院養信筆 江戸時代・19世紀  
美しく装った童たちが桜咲く春の仙事に花を供えます



9

能と歌舞伎

室町時代～江戸時代に用いられた能面・能装束・歌舞伎衣装などを紹介します。

2/24 日

日本の伝統的な吉祥模様の世界を能装束や小道具のデザインを通して楽しんでいただけます。

2/26 火 — 4/21 日

花見の季節に合わせて、桜模様や道成寺の衣装を展示します。



必見

◎唐織 胴落地松帆船模様

江戸時代・18世紀  
上杉家伝来  
金色に輝く海原をゆつたりと渡る帆船の模様はおめでたい気分になります



必見

◎振袖 紅縮緬地桜流水模様

江戸時代・19世紀  
坂東三津江所用  
高木キヨウ氏寄贈  
『本朝二十四孝』八重垣姫役の振袖。姫役にふさわしい華やかな色使いです

【衣装】小袖や髪飾り、印籠や根付など江戸時代のファッションに関する展示です。

2/24 日

吉祥模様をデザインしたキモノを展示します。

2/26 火 — 4/21 日

桜を中心に春の花をデザインした華やかなキモノや女性の婚装衣装などを展示します。



必見

◎振袖 白縮緬地梅樹衝立鷹模様

江戸時代・18世紀  
ところどころに配される衝立には勢いよくうねる梅樹模様が描かれています

必見

◎小袖 紫白染分縮緬地笠扇桜文字模様

江戸時代・18世紀  
和歌の文句をカタカナで散らして刺繍したなんとも珍しい模様



必見

◎風俗四季哥仙・弥生

鈴木春信筆 江戸時代・18世紀  
若い男女の「曲水の宴」。流れ来るのは、恋の文か

10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】

江戸時代の美人や風景を描いた版画と肉筆の浮世絵を展示します。

1/29 火 — 2/24 日

梅や雪といった季節感に富んだ作品を中心に、浮世絵版木の流れを追った陳列です。

◎風俗四季哥仙・二月 水辺梅

鈴木春信筆 江戸時代・18世紀  
恋人たちの夜のデート。彼氏頑張る！



2/26 火 — 3/24 日

ひな祭りなど季節にちなんだ作品と、葛飾北斎、歌川広重など有名絵師の作品を中心に。

◎風俗四季哥仙・弥生

鈴木春信筆 江戸時代・18世紀  
若い男女の「曲水の宴」。流れ来るのは、恋の文か



本館2階  
2月・3月  
必見ガイド

日本美

縄文から  
ほんものでた

# 注目の特集

注目  
特集陳列

描かれた水の意味を探る

## 黒田清輝 ― 水辺をめぐって

1月29日(火)～3月3日(日)

● 本館18室

黒田の代表作となっている「湖畔」

明治中期から大正期の洋画界を牽引した黒田清輝(一八六六～一九二四)は、フランスで外光派の画家ラファエル・コランに師事し、風景の中に人物群像を配して抽象的な概念を表すアカデミックな絵画を学ぶとともに、印象派風の光の表現を取り入れた画風を身につけました。黒田にとって、人物とともに風景が重要なモチーフとなっていました。黒田が好んで描いた風景は、都市よりも田園、中でも山岳よりも海や川、湖といった水辺が多いことに気づきます。

黒田の代表作となっている「湖畔」(一八九七年)は、水を描く研究をしていた折に生まれた作品であると、モデルとなった夫人が回想しています。黒田にとって、水はこだわって研究すべきモチーフであったようです。

実景を写す作品だけでなく、抽象的な概念を表そうとする作品にも水辺が多く描かれています。この展示では、黒田が水を描いた作品に注目し、多様な表現を味わうとともに、描かれた水の意味を探る試みとして、(山梨絵美子) と思います。



◎舞妓 黒田清輝  
明治26年(1893)  
黒田の帰国第一作。舞妓の半身を取り囲むように鴨川の水面が描かれています。



◎湖畔 黒田清輝  
明治30年(1897)  
画面の大部分が水面が占め、水の表現が絵の印象を左右する構図です。湖面には水色のほか、緑、紫、ピンクなどさまざまな色が用いられ単調さを免れています。

注目  
愛くるしい綴織の文様世界

## 「コプティック・テキスタイル」 ― エジプトのコプト信仰が綴った織文様 ―

東京国立博物館140周年特集陳列

2月5日(火)～3月31日(日)

● 本館特別1室

紀元三世紀から十三世紀にかけて、エジプトのキリスト教者、コプト教徒は、地中海文化の影響を受けた綴織による古拙な織文様で衣服を飾りました。十九世紀には伝存するコプト裂がヨーロッパのコレクターの間で人気を博し「コプティック」という言葉が綴織の代名詞ともなりました。

した。今回は、これまで展示する機会がなかった当館所蔵のコプト裂の中から三十二点を展示いたします。また、完全な服飾の形態を持つ東京女子美術大学美術館所蔵コレクションの中から七点の作品を特別に展示することとしました。キリスト教にかかわりの深い聖者や天使、さまざまな動物文様は何とも愛らしいですが、(小山弓弦) 愛しています。



●聖人文様裂  
コプト時代中期・6世紀エジプト 山口勉氏寄贈  
信仰の証であるキリスト教の聖者を表わす



●イルカ鳥文様裂  
コプト時代後期・8世紀  
鮮やかな色使いもかわいい

注目  
特集陳列

文化財のもう一つの顔

## 「東京国立博物館 コレクションの保存と修理」

3月12日(火)～4月21日(日)

● 平成館 企画展示室

特集陳列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」は今年で十三回目となります。今回は平成二十一年度から二十四年度にかけて修理を行なった作品のうち、十五件を展示いたします。鎌倉時代に描かれた阿弥陀如来像をはじめとして、安土桃山時代の千利休による書状、江戸時代の末に制作された重要文化財・染付龍濤文提重、十四世紀元時代の中国で制作された広寒宮螺鈿合子、安土桃山時代の重要



◎阿弥陀如来像 鎌倉時代・14世紀 松永安左衛門氏寄贈  
光学調査により、光背に化仏の存在が確認できました。

文化財・小袖 白練緯地松皮菱竹模様 埼玉県出土で縄文時代の重要文化財・片口付深鉢形土器等、さまざまな分野の作品をご覧いただくとともに修理についての情報を発信します。近年、寄付金あるいは助成金によって修理をご支援いただく機会が増えました。そうした点もあわせてご紹介いたします。本特集陳列で文化財のもう一つの顔をご確認ください。(土屋裕子)

\*本特集に関連して列品解説・見学ツアーを実施します。  
詳細は12ページをご覧ください。

注目  
ヒックアップ!

## 新 東洋館 見どころ

足利義満が愛でた三幅対

「中国書画精華(後期) 宋元の道釈画を中心に」より

1月29日(火)～2月24日(日) 東洋館8室

東洋館8室では、天井の高い広々とした空間で、皇帝や将軍も見たい世界有数の中国書画コレクションをお楽しみいただけます。

今回の展示の注目作品であるこの三幅は、もと足利義満の收藏品で、最上の品格をもつ東山御物でした。その後バラバラに伝世してきましたが、昭和二十三年にまず「雪景山水図」(左幅)が、

平成9年に「出山釈迦図」が、平成十六年には最後の「雪景山水図」(右幅)が当館の所有となり、平成十九年には一具の国宝に指定されました。梁楷の作品は中国にもほとんどなく、三幅そろって大切に伝えてきた日本ならではの、奇跡の逸品と言えます。(塚本磨充)



●雪景山水図 梁楷筆 南宋時代・13世紀  
●出山釈迦図 梁楷筆 南宋時代・13世紀  
●雪景山水図 伝梁楷筆 南宋時代～元時代・13～14世紀 (向かって左から)

長い苦行でも悟りを得られなかったお釈迦さまの苦悩と、悟りを求める一途な表情が、厳しい山水景とともに見事に表現されています。

この作品  
この部屋  
気になる

本館 4室 茶の美術

胴の歪み、自然釉が魅力の器

重文

一重口水指  
銘柴庵

2月26日(火)～5月19日(日)

日本製のやきもので最初に茶の湯の具足として取り上げられたのは、信楽や備前といった釉薬の掛からない焼締陶器の水指でした。当初は種壺などの日用の器が水指に見立てられました。この水指は、長石粒を多く含む信楽独特の土が用いられ、縦に大きな亀裂が走り、自然釉がどつぷりと掛かって景色をなしています。わずかに口縁をしばった造形は、すでに日用の器を脱して、茶の湯の水指として作られたものであることを物語っています。(今井敦)



◎一重口水指 銘柴庵  
信楽 安土桃山時代・16世紀  
広田松繁氏寄贈  
千利休所持と伝えられる信楽水指の代表作です

東洋館前庭 屋外展示

正門入って右手に注目

朝鮮の石像



羊  
伝韓国江原道  
朝鮮時代・18～19世紀  
朝鮮時代の墓を守るために建てられました



石人  
朝鮮半島 朝鮮時代・18～19世紀  
新田愛祐氏寄贈  
石材の形をよくとどめています

昨年十月から十二月にかけて、東洋館前の芝生に文官や羊の石像が設置されたことにお気づきでしょうか。

これらは朝鮮時代の王や両班の墓を守る石像です。一時撤収されていたのですが、新装開館した東洋館に導く屋外展示として、公開されました。

正門に最も近いところに設置された二体の文官は、細い直方体の石材の形をよくとどめており、古い様式かもしれません。こちらは、東洋館玄関に設置された中国の獅子像とともに、日本で最初に合板を生産した新田愛祐氏から寄贈された作品です。(白井克也)

1000年後の未来にバトンタッチ！

保存と修理情報 15

バンクオブアメリカ・メリルリンチの文化財保護プログラム

ACP2012の協力を得て  
国宝「檜図屏風」の修理始まる

米金融大手のバンクオブアメリカ・メリルリンチ社が平成二十二年(二〇一〇)から開始した文化財保護プロジェクトACP(Art Conservation Project)は、世界の文化財の保護と将来世代への継承を目的とし、国や地域の文化的遺産として、芸術の歴史にとつて有意義な作品の保存・公開を図る非営利組織に対して、助成金を提供するものです。このたび、中国・南宋時代の名品、重宝文化財「五龍図巻」の修理に続き、安土桃山時代を代表する国宝「檜図屏風」の修理に対して助成を頂戴しました。

金箔を貼った大地や雲を背景にした八曲一隻の檜図屏風からは、大枝を広げる巨木の姿が画面いっぱい迫ってきます。しかしながら、屏風には経年によって生じたさまざまな劣化が見られ、平成二十年に開催された特別展「対決！巨匠たちの日本美術」展を最後に、二十三年一月、当館で二週間に限つての特別公開を実施した以外は展示を控えてきました。特に、緑青で表した松の葉は、膠の固着力が低下したために剝離と剝落が生じ、金地が至るところで覗いて見えます。また、本紙料紙あるいは本紙を支える裏打紙には紙の脆化が原因となつて裂けや浮き上がりが生じ、画面を安全に保持することが困難な状況です。こうした深刻な状態を回復させるために、バンクオブアメリカ・メリルリンチ社からのご支援を得て、平成二十四年十月から本格的な解体修理に着手しました。二十六年三月には修理完了の予定です。

Bank of America  
Merrill Lynch



◎檜図屏風 狩野永徳筆 安土桃山時代・16世紀



知る楽しみ、学ぶ喜び  
講座・講演会・解説

講演会

東京国立博物館 140周年月例講演会  
「松永耳庵の茶道具」

耳庵・松永安左工門のコレクションを概観します。  
日時：2月16日(土)13:30～15:00  
講師：横山梓(特別展室研究員)  
(関連する特集陳列「松永耳庵の茶道具」の詳細は前号11ページ参照)

東京国立博物館 140周年月例講演会

「東京国立博物館の建築—140年の変遷と未来への提言」

東京国立博物館の建造物の歴史と魅力についてお話しします。  
日時：3月23日(土)13:30～15:00  
講師：矢野賀一(デザイン室主任研究員)

特別講演会

「南九州の古墳文化—日本古代国家成立と九州南部地域文化の展開—」

日本古代国家形成期における九州南部の地域的独自性に富む古墳文化の位置づけを探ります。  
日時：2月23日(土) 13:00～16:15  
出席者：鈴木靖民(横浜市歴史博物館館長)  
北郷泰道(宮崎県埋蔵文化財センター所長)  
橋本達也(鹿児島大学総合研究博物館准教授)  
永山修一(ラ・サール学園教諭)  
古谷 毅(列品管理課主任研究員)  
(関連する特集陳列「南九州の古墳文化」の詳細は前号10ページ参照)

\* 開場は開始の30分前。いずれも会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし当日の入館料は必要)

列品解説

南九州の古墳文化

日時：2月5日(火)14:00～14:30  
平成館企画展示室  
講師：古谷毅(列品管理課主任研究員)  
古墳時代前期～中期に九州最大の前方後円墳が築かれ、独自墓制とも共存する南九州(宮崎・鹿児島県)の先進的で特色ある古墳文化をご紹介します。  
(関連する特集陳列「南九州の古墳文化」の詳細は前号10ページ参照)



◎李白吟行図  
梁楷筆 南宋時代・13世紀

中国書画精華を楽しむ

日時：2月19日(火)14:00～14:30  
東洋館8室  
講師：塚本磨充(東洋室研究員)  
当館には世界でも指折りの中国書画コレクションが所蔵されています。新しくなった東洋館で、その魅力をお話します。  
(関連する特集陳列「中国書画精華」(後期)の詳細は10ページ参照)

インドネシアのワヤン

日時：2月26日(火)14:00～14:30  
東洋館13室  
講師：白井克也(平常展調整室長)  
インドネシアの影絵人形ワヤン。その作り方と使い方を解説します。



◎ワヤン・クリ クレスノ  
インドネシア・中部ジャワ  
20世紀 ダナルト氏寄贈

縄文土器につけられた顔

日時：3月5日(火)14:00～14:30  
平成館考古展示室  
講師：井出浩正(考古室研究員)  
縄文土器の顔面装飾を中心に、縄文土器につけられたさまざまな文様をご紹介します。

安左工門さん、  
たくさんのすばらしい作品を  
ありがとう!



トーフク  
東博の臨床保存

日時：3月12日(火)14:00～14:30 東洋館TNM & TOPPANミュージアムシアター  
講師：神庭信幸(保存修復課長)  
当館が実践する臨床保存について、診断して予防と修理の実例を紹介しながら解説いたします。  
(関連する特集陳列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」の詳細は10ページ参照)

修理で得られる新情報

日時：3月19日(火)  
14:00～14:30  
平成館企画展示室  
講師：土屋裕子(保存修復室主任研究員)  
修理の前や途中の詳細な調査により、今まで知ることがなかった作品の情報に出会うことがあります。それらの情報を皆さんと共有したいと思います。  
(関連する特集陳列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」の詳細は10ページ参照)



◎小袖 白練緯地  
まつかわしたけも、そう  
松皮菱竹模様  
安土桃山時代・  
17世紀  
伝徳川家康より  
鷲流狂言師鷲仁  
右衛門宗玄拝領



修理中の解体の様子

考古資料の修理と保存

—土器と鉄器を例にして—  
日時：3月26日(火)14:00～14:30 東洋館TNM & TOPPANミュージアムシアター  
講師：川村佳男(保存修復室研究員)  
考古の収蔵品をより長く保存するためのトーフクの取り組みについて、土器と鉄器を例にご紹介します。  
(関連する特集陳列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」の詳細は10ページ参照)

見学ツアー

「保存と修理の現場へ行こう」 事前申込制 [往復はがき]

特集陳列「東京国立博物館コレクションの保存と修理」(詳細は10ページ参照)に関連して、文化財の保存と修理についての解説および修理室等の見学ツアーを行います。刀剣や書画の修理室、目に見えない内部構造を知るためのX線調査室等をご案内いたします。

日時：3月14日(木)、3月15日(金)13:30～16:10  
各回、内容は同じです。

会場：修理室、X線調査室等

対象：一般

定員：各回40名(お申込みは1枚のはがきで、1人1回分のみ申込可能。応募多数の場合は抽選)  
申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望日、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお申込ください。

宛先：〒110-8712 台東区上野公園13-9  
東京国立博物館教育講座室「保存ツアー」係  
申込締切：2月11日(月・祝)必着

なかなか入れない  
修理現場に潜入だほ!



ART  
2

五感を使った美術体験  
ワークショップ

事前申込制 [ウェブサイトフォーム、往復はがき]

ファミリーワークショップ

「からだが動くエビを作ってみよう」

からだが本物のように動く金属の置物「自在置物」は、とても高い技術がなければ作れません。どうやって作ったのか、どうして作ったのかを探る当館の人気プログラム。家族で力を合わせ、家族でひとつ、エビの自在置物を作ってみましょう！

日時：①2月23日(土)、②2月24日(日)  
13:00~17:00 (2回とも同じ内容です)

会場：平成館 小講堂

対象：小学生を含むご家族

定員：各回10組(応募者多数の場合には抽選)

参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要です。高校生と満18歳未満および満70歳以上の方は入館無料)



細かい作業もたくさん。  
自在置物が繊細な作品であることを実感してください

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込みいただけます。

往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加希望日、(2)参加者全員の氏名・ふりがな・学年、(3)住所・郵便番号、(4)電話番号、「返信用表面」に代表者の住所・郵便番号・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。申込先：〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育普及室「自在エビ」係

締切：①②ともに2月3日(日) 必着



ワークショップで作るのはこちら！

トーハク所蔵の「自在置物 伊勢海老」  
本当に動くのかな

特別展関連ワークショップ

特別展「飛驒の円空一千光寺とその周辺の足跡一」

関連ワークショップ「円空にちかづく」

(展覧会およびワークショップの詳細は本誌2~3ページをご覧ください。)

特別展「書聖 王羲之」

関連ワークショップ「王羲之の複製を作ろう」

(展覧会およびワークショップの詳細は本誌4~5ページをご覧ください。)

ほー！カッコイイほ



ART  
3

あなたの鑑賞をサポート  
ボランティアによる事業

事前申込制 [ウェブサイトフォーム、往復はがき]

アートスタジオ

「桜の根付作り」

本館の根付や、桜にちなんだ作品を見学した後に、粘土を加工して桜をテーマにしたオリジナルの根付を制作します。できあがったものはお持ち帰りいただけます。

日時：3月24日(日)  
13:30~15:30

会場：平成館 小講堂

対象：一般(高校生以上)

定員：15名(応募者多数の場合には抽選)

参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要です。高校生と満18歳未満および満70歳以上の方は入館無料)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申込みいただけます。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1)参加者全員の氏名・ふりがな・年齢(2)参加者全員の住所・郵便番号(3)代表者の電話番号を明記の上、下記申込先へお送りください。

申込先：〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館ボランティア室「3月24日根付作り」係

締切：2月25日(月)必着



東京芸術大学学生ボランティアによるギャラリートーク

東京芸術大学との連携事業です。東京芸術大学大学院美術研究科修士課程芸術学専攻 日本・東洋美術史を学ぶ学生が、多様な切り口から展示作品を解説します。

「伝周文「四季山水図屏風」

—山水画の世界を楽しむ—

日時：2月3日(日)、7日(木)、9日(土)

会場：本館3室

解説者：浅井ふたば

「近世の仏教

—松雲元慶「羅漢坐像」—

日時：2月10日(日)

会場：本館11室

解説者：菊地真央

「黒田清輝「湖畔」—日本の油彩画作品—

日時：2月5日(火)、17日(日)、

19日(火)、23日(土)、

24日(日)、26日(火)

会場：本館18室

解説者：塩野文音

\*各回とも15:30~15:50

集合場所はすべて本館1階エントランス



作品鑑賞がさらに  
楽しくなりそうなテーマ  
がいっぱいね!



\*事前申込制のプログラムにお申込みいただいた方へは、当落に関わらずご連絡いたします。実施日の3日前までに、受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので各申込先にお電話でお問合せください。電話03-3822-1111(代表)

\*ご提供いただいた個人情報、当該の目的のみ使用し、終了後はすみやかに破棄します。

## イベント開催のお知らせ

### 東京・春・音楽祭 —東京のオペラの森2013—

2009年から引き続き「ミュージアム・コンサート 東博でバッハvol.12～16」をお届けします。

- ①東博でバッハvol.12 郷古廉(ヴァイオリン)  
日時: 3月21日(木) 開演19:00 開場18:30  
曲目: J.S. バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第2番 イ短調 BWV1003 ほか
  - ②東博でバッハvol.13 福田進一(ギター)  
日時: 3月26日(火) 開演19:00 開場18:30  
曲目: J.S. バッハ(福田進一編): 組曲 ト長調(無伴奏チェロ組曲 第4番 変ホ長調 BWV1007) ほか
  - ③東博でバッハvol.14 川本嘉子(ヴィオラ)  
日時: 4月5日(金) 開演18:30 開場18:00  
曲目: J.S. バッハ: 無伴奏チェロ組曲全曲(ヴィオラ版)
  - ④東博でバッハvol.15 寺神戸亮(ヴァイオリン)  
日時: 4月9日(火) 開演19:00 開場18:30  
曲目: J.S. バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第2番 イ短調 BWV1003 ほか
  - ⑤東博でバッハvol.16 池上英樹(マリンバ)  
日時: 4月10日(水) 開演19:00 開場18:30  
曲目: J.S. バッハ: シャコンヌ(無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第2番 ニ短調 BWV1004より) ほか
- 会場: ①②④⑤法隆寺宝物館エントランスホール  
③平成館ラウンジ
- 料金: ①②④⑤3,500円(全席自由)  
③5,000円(全席自由)

チケットのお求め方法: 東京・春・音楽祭 <http://www.tokyo-harusai.com/>  
東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 ほか  
主催: 東京・春・音楽祭実行委員会  
共催: 東京国立博物館  
お問合せ: 東京・春・音楽祭実行委員会 TEL 03-3296-0600

\*各イベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。  
\*お車でのご来館はご遠慮ください。

## 東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。  
賛助会員には、特別会員と維持会員の2種類があります。  
\*賛助会員のお申込は随時受け付けております。

- ◎年会費  
特別会員 100万円以上  
維持会員 法人 20万円 / 個人 5万円

### 特別会員

- 日本電設工業株式会社 様
- 株式会社 コア 様
- 大日本印刷株式会社 様
- 毎日新聞 様
- 株式会社 大林組 様
- 朝日新聞社 様
- 株式会社 ミロク情報サービス 様
- 読売新聞社 様
- 三菱商事株式会社 様
- 維持会員団体
- TBS 様
- 株式会社 精養軒 様
- 株式会社 三冷社 様
- 株式会社 ネットワークエンタープライズ 様
- 株式会社 東京美術 様
- 株式会社 鶴屋吉信 様
- 日本通運株式会社 様
- 株式会社 安井建築設計事務所 様
- 株式会社 ナガホリ 様
- 松本建設株式会社 様
- 株式会社 古美術数本 様
- 謙慎書道会 様
- 近代書道研究所 様
- 日本書道興業株式会社 様
- 株式会社 東京書芸館 様
- インフォコム株式会社 様
- 学校法人 大勝院学園 様
- 有限会社 システム設計 様
- 株式会社 インターネットインフォティブ 様
- 株式会社 小西美術工芸社 様
- 凸版印刷株式会社 様
- フルガリ ジャパン株式会社 様
- 財団法人 東芝国際交流財団 様
- 伊藤 信彦 様
- 日本写真印刷株式会社 様
- 日本ロレックス株式会社 様
- サロンド・ソネット 様
- シティバンク銀行株式会社 様
- 株式会社 ミュージアムスタイルカフェ 様
- 株式会社 東芝 様
- 株式会社 みずほ銀行 様
- 公和図書株式会社 様
- 有限会社 ギャラリー・竹柳堂 様
- 株式会社 育伸社 様
- 株式会社 モリサワ 様
- アミ開発有限会社 様
- 光村図書出版株式会社 様
- 株式会社 アク・ヒューマンリード 様
- キョーリン製菓ホールディングス株式会社 様
- 株式会社 資生堂 様
- 株式会社 グラスパハン・ジャパン 様
- 株式会社 デュナミス 様
- キョーモン株式会社 様
- 株式会社 ミュースエンターテインメント 様
- 公益社団法人 創文書道会 様
- 株式会社 アルカ 様
- 朝陽書道会 様
- 社団法人 書芸文化院 様
- 株式会社 都市環境企画 様
- 日本空輸株式会社 様
- 楽天銀行株式会社 様

### 維持会員個人

- 木村 則子 様
- 高木 聖鶴 様
- 早乙女 節子 様
- 伊藤 信彦 様
- 井上 萬里子 様
- 篠内 匡人 様
- 服部 禮次郎 様
- 若沢 重美 様
- 高田 朝子 様
- 齋藤 京子 様
- 齋藤 邦裕 様
- 和田 喜美子 様
- 佐々木 芳絵 様
- 藤原 紀男 様
- 中川 俊光 様
- 関谷 徳衛 様
- 高橋 守 様
- 小澤 桂一 様
- 上久保 のり子 様
- 堀田 良豊 様
- 長谷川 英樹 様
- 池田 孝一 様
- 木村 剛 様
- 観世 あすか 様
- 星 望 様
- 久保 順子 様
- 渡辺 章 様
- 福垣 哲行 様
- 帖佐 誠 様
- 飯岡 雄一 様
- 峯村 協成 様
- 牧 美也子 様
- 高瀬 正樹 様
- 坂井 俊彦 様
- 寺浦 信之 様
- 高木 美華子 様
- 古屋 光夫 様
- 根田 穂美子 様
- 松本 澄子 様
- 是常 博 様
- 上野 孝一 様
- 北山 喜久 様
- 山田 泰子 様
- 柴田 隆子 様
- 絹村 安代 様
- 岡田 博子 様
- 臼井 生三 様
- 津久井 秀郎 様
- 川澄 祐郎 様
- 神通 豊 様
- 永久 幸範 様
- 五十嵐 良和 様
- 三川 公子 様
- 池田 真 様
- 青山 千代 様
- 永田 実香 様
- 西岡 康宏 様
- 友景 紀子 様
- 東野 治之 様
- 辻 泰二 様
- 竹下 佳宏 様
- 野澤 智子 様
- 野崎 弘 様
- 坂田 浩一 様
- 池谷 正夫 様
- 脇 素一郎 様
- 木谷 駿一郎 様
- 高梨 兵左衛門 様
- 渡久地 ツル子 様
- 汐崎 浩正 様
- 堤 勝代 様
- 平井 千恵子 様
- 高谷 宏光 様
- 青山 道夫 様
- 高橋 静雄 様
- 田中 千秋 様
- 小西 時也 様
- 澁谷 洋志 様
- 清川 勉 様
- ozawayuko 様
- 仙石 哲朗 様
- 中井 伸行 様
- 田中 望 様
- 三井 達雄 様
- 坂詰 貴司 様
- 吉田 靖 様
- 松本 雅彦 様
- 篠田 喜弘 様
- 片山 正紀 様
- 伊藤 喜雄 様
- 井上 雄吉 様
- 大森 雅子 様
- 折越 卓哉 様
- 細川 要子 様
- 錦織 伸一 様
- 鈴木 幸一 様
- 秋元 文子 様
- 井出 雪絵 様
- 土師 建次 様
- 鏡 賢志 様
- 山田 輝明 様
- 高久 真佐子 様
- 高橋 明子 様
- 佐藤 禎一 様
- 田中 榮二 様
- 谷川 紀彦 様
- 山口 隆司 様
- 原 一之 様
- 会田 健一 様
- 桐畑 政義 様
- 相良 多恵子 様
- 熊谷 勝昌 様
- 鈴木 徹 様
- 今里 美幸 様
- 櫻井 惠 様
- 伊佐 健二 様
- 福井 一夫 様
- 軽部 由香 様
- 酒井 弘文 様
- 木越 誠 様
- 田上 保 様
- 田中 信 様
- 岡崎 子 様
- 今川 晴紀 様
- 菊池 昌之 様
- 増淵 信義 様
- 山本 隆幸 様
- 鈴木 春朝 様
- 山上 知子 様
- 名取 幸二 様
- 増淵 信義 様
- 要 英範 様
- 樽本 英信 様
- 本條 陽子 様
- 西原 賢一 様
- 加藤 康 様
- 安田 清 様
- 筑紫 みづえ 様
- 鳥山 玲 様
- 尾崎 邑崎 様
- 山本 雅司 様
- 倉片 康雄 様
- 栗山 哲夫 様
- 山根 宗芳 様
- 梅本 聖 様
- 櫻本 孝世 様
- 岡田 良雄 様
- 阿部 和加子 様
- 井茂 圭河 様
- 高味 良信 様
- 廣田 雅 様
- 熊谷 誠治 様
- 山田 伊知郎 様
- 山中 章 様
- 杉山 恭規 様
- 杉田 浩一 様
- 秋元 あかね 様
- 笹森 美子 様
- 高橋 明子 様
- 村井 明美 様
- 久保田 哲暁 様
- 小塚 泰博 様
- 星 弘道 様
- 熊谷 潤子 様
- 佐野 豊進 様
- 田中 節山 様
- 高木 聖雨 様
- 久保 和樹 様
- 山中 翠谷 様
- 荒木 章 様
- 福岡 稔 様
- 関口 大志 様
- 中山 文子 様
- 山口 登 様
- 柳村 衛 様
- 樽澤 剛志 様
- 阿部 和加子 様
- 井茂 圭河 様
- 高味 良信 様
- 廣田 雅 様
- 熊谷 誠治 様
- 山田 伊知郎 様
- 山中 章 様
- 杉山 恭規 様
- 杉田 浩一 様
- 秋元 あかね 様
- 笹森 美子 様
- 高橋 明子 様
- 村井 明美 様
- 久保田 哲暁 様
- 小塚 泰博 様
- 星 弘道 様
- 熊谷 潤子 様
- 佐野 豊進 様
- 田中 節山 様
- 高木 聖雨 様
- ほかに65名3社、順不同

## 本館1階 臨時閉室のお知らせ

展示ケースの清掃、およびメンテナンスのため、本館1階の11室から19室までを3月4日(月)から18日(月)まで閉室いたします。またミュージアムショップ移転にともない、本館20室を1月15日(火)から3月18日(月)まで閉室いたします。

## 本館ミュージアムショップ移転のお知らせ



3月19日(火)より、本館のミュージアムショップが20室に移転してリニューアルオープンします。ショップ内に休憩エリアやインフォメーションエリアを設けたほか、書籍コーナーを回遊性のある配置にして、よりゆったりとお買い物をお楽しみいただける空間になります。また、移転に伴い、3月11日(月)から18日(月)まで本館のミュージアムショップは閉店させていただきます。

## 資料館より一各館のニュースレター閲覧のご案内

資料館では、美術館・博物館の広報誌であるニュースレターについて、その資料的な価値に注目し、収集・整理・保管・公開をしています。これらは、限られた紙面の中でデザインや形態に各館の個性を反映したバラエティ豊かな資料です。記事内容や紙面の構成からは、何を重視し、何を伝えたいのか、各館のビジョンや姿勢が伝わってきます。また、その集積したものは各館の歩みをたどる上でも欠かせない重要な資料となるはずです。(住広昭子)



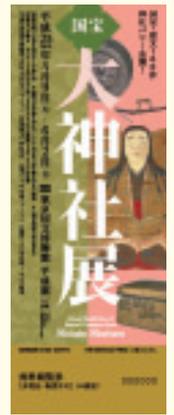
## 「国宝 大神社展」ご招待券をプレゼント

本誌5ページでご紹介した「国宝 大神社展」(4月9日(火)～6月2日(日))のご招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は3月22日(金)必着。

### ◎プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番面白かった企画、なぜならトナー(本誌7ページ)で聞きたいことをご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館  
広報室「ニュース2・3月号」プレゼント係



### ◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

### ◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当  
電話 03-3822-1111(代)

## TNM & TOPPANミュージアムシアター

TNM & TOPPANミュージアムシアターは、時空を超えた文化財を訪ねる旅へナビゲーターがご案内するバーチャルリアリティシアターです。300インチの大型スクリーンにハイビジョンの約4倍の解像度となる超高精細4K映像が映し出されます。ナビゲーターによるライブ上演で文化財VR(バーチャルリアリティ)作品をお楽しみください。

### ◎『アンコール遺跡バイオン寺院—尊顔の記憶—』

1月4日(金)～3月31日(日)

●水・木・金・土・日曜、祝・休日  
12:00、14:00、16:00

100万㎡に及ぶ世界最大の立体形状計測データで丸ごと再現!

神秘的巨大石仏と出会う迫真のバーチャルツアーです。



【監修】東京国立博物館 【制作】凸版印刷株式会社

### ◎『洛中洛外にぎわい探訪 舟木本屏風を歩く—京のごちそう—』

1月4日(金)～3月31日(日)

●水・木・金曜  
13:00、15:00  
●土・日曜、祝・休日  
11:00、13:00、15:00

専門家も驚いた!肉眼では見えなかった京の文化と生活模様。

徳川の台所。今日の献立、鴨と鯛をご覧ください。



【監修】東京国立博物館 【制作】凸版印刷株式会社

料金:一般・大学生・高校生:500円、小学生・中学生:300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料

\*大学生以上は総合文化展当日券(一般600円/大学生400円)とセット購入で100円割引(セット価格一般1,000円/大学生800円)

\*1作品・1回あたりの観覧料です

\*当日予約制。上演10分前に開場します(上演時間は30分)

\*詳細はウェブサイトをご覧ください。

URL <http://www.toppan-vr.jp/mt/>

## 東京国立博物館友の会&パスポート

**友の会** 年会費1万円  
発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

**パスポート** 一般4,000円 学生2,500円  
発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

\*建物の改修等のため、京都国立博物館の平常展示館、東京国立博物館・表慶館・黒田記念館など一部展示館を閉館しています。

◎お申込みは当館窓口、郵便振替または当館ウェブサイト

### 【郵便振替でのお申込】

●振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください

●振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください

●振替手数料はお客様の負担となります

●ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

### 友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会  
口座番号00160-6-406616

### パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート  
口座番号00140-1-668060

●振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

### ◎お問合せ

電話03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当  
FAX03-3821-9680

## 東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

### ◎お申込は郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース  
口座番号00100-2-388101

●振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください

●振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください

●振替手数料はお客様のご負担となります

●次号より送付ご希望の場合、締切は2013年3月10日まで

## 博物館に初もうで&東洋館リニューアルポスタープレゼント

2013年のトウハクは、恒例の「博物館に初もうで」に「東洋館リニューアル」も加わる特別なスタートを切りました。今年のイメージポスターを飾るのは、俳優の井浦新さん。テレビや映画で幅広く活躍の井浦さんですが、歴史や文化への造詣が深く、イメージポスターにも快くご協力いただきました。このポスターを本誌の読者20名様にプレゼントします。(どちらか一枚。種類はお選びいただけません)

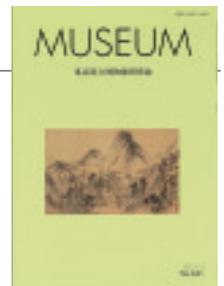


◎応募方法:はがきに、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。締切2月20日(水)必着。

〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館 広報室「ニュース2013年ポスター」プレゼント係

## 『MUSEUM』64号(2012年12月15日発行)の掲載論文

- ①『「黄葉亭記」の原本と写本—岡山藩主池田家旧蔵資料の構造分析を踏まえて—』浅利尚民(林原美術館)
- ②『《作品紹介》伝狩野孝信筆〈酒天童子絵巻〉の特色』小野真由美(当館出版企画室)
- ③『《作品紹介》狩野探幽筆、玉室宗珮・沢庵宗彭・江月宗玩賛〈堀直寄像〉』門脇むつみ



## 国立博物館の展示案内

### 〈京都国立博物館〉

特別展観「国宝 十二天像と密教法会の世界」  
1月8日(火)～2月11日(月・祝)

特別展覧会「狩野山楽・山雪」 3月30日(土)～5月12日(日)

### 〈奈良国立博物館〉

特別陳列「お水取り」 2月9日(土)～3月17日(日)

### 〈九州国立博物館〉

特別展「ボストン美術館 日本美術の至宝」1月1日(火祝)～3月17日(日)

## 東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブサイト更新などの情報をいち早くお届けします

●ご登録は <http://www.tnm.jp/> から

## 東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30～17:00

2013年3月～12月の特別展開催期間中の毎週金曜日は20:00まで開館  
2013年4～9月の土日祝休日は18:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)

休館日 原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(2013年12月24日～2014年1月1日)。2013年6月18日(火)は臨時休館。

総合文化展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

●( )内は20名以上の団体料金

●障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください

●満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の総合文化展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

\*各種イベント等のお申込みに際してご提供いただいた個人情報、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

1 金	法 15:00 特別展「飛驒の円空」 特別展「書聖 王羲之」
2 土	記念講演会「書聖 王羲之～書聖の実像と蘭亭文化の広がりに～」 13:30 平成館大講堂*1 建 11:00 樹 13:30 本 14:00 法 15:00
3 日	芸大トーク「伝周文『四季山水図屏風』」15:30 本館3室*2 作 13:30 考 14:30
4 月	休館日
5 火	列品解説「南九州の古墳文化」14:00 平成館企画展示室*3 芸大トーク「黒田清輝『湖畔』」15:30 本館18室*2 建 13:00
6 水	
7 木	芸大トーク「伝周文『四季山水図屏風』」15:30 本館3室*2 本 14:00
8 金	英 14:00 考 14:30
9 土	芸大トーク「伝周文『四季山水図屏風』」15:30 本館3室*2 陶 14:30
10 日	記念講演会「書聖 王羲之が日本に与えた影響」13:30 平成館大講堂*1、芸大トーク「近世の仏教」15:30 本館11室*2 浮 14:00
11 月・祝	
12 火	休館日 井浦新トークショー & プレミアム夜間鑑賞会 19:00 平成館大講堂*4
13 水	ワークショップ「王羲之の複製を作ろう」14:00 平成館小講堂*5 樹 13:30 浮 14:00
14 木	本 14:00 庭 14:00
15 金	法 15:00
16 土	月「松永耳庵の茶道具」13:30 平成館大講堂*3 建 11:00 本 12:00,14:00 樹 13:30 法 15:00
17 日	芸大トーク「黒田清輝『湖畔』」15:30 本館18室*2 英 12:00 茶 12:30,14:00 浮 14:00 考 14:30
18 月	休館日
19 火	列品解説「中国書画精華を楽しむ」14:00 東洋館8室*3 芸大トーク「黒田清輝『湖畔』」15:30 本館18室*2 建 13:00
20 水	
21 木	本 14:00 彫 15:00
22 金	考 14:30
23 土	特別講演会「南九州の古墳文化」13:00 平成館大講堂*3、ファミリーワークショップ「からだが動くエビを作ってみよう」13:00 平成館小講堂*5、芸大トーク「黒田清輝『湖畔』」15:30 本館18室*2 陶 14:30
24 日	ファミリーワークショップ「からだが動くエビを作ってみよう」13:00 平成館小講堂*5 芸大トーク「黒田清輝『湖畔』」15:30 本館18室*2 彫 11:00 庭 14:00 浮 14:00
25 月	休館日
26 火	列品解説「インドネシアのワヤン」14:00 東洋館13室*3 芸大トーク「黒田清輝『湖畔』」15:30 本館18室*2
27 水	樹 13:30
28 木	本 14:00

1 金	夜間開館(20:00まで) 法 15:00
2 土	建 11:00 樹 13:30 本 14:00 陶 14:30 法 15:00
3 日	考 14:30 (3/3まで) ↓
4 月	休館日
5 火	列品解説「縄文土器につけられた顔」14:00 平成館考古展示室*3 建 13:00
6 水	
7 木	本 14:00
8 金	夜間開館(20:00まで) 英 14:00 考 14:30
9 土	記念講演会「飛驒人と円空の祈り」13:30 平成館 春の庭園開放 大講堂*4
10 日	ワークショップ「円空にちかづく」10:30, 13:30 平成館小講堂*4 浮 14:00
11 月	休館日
12 火	列品解説「東博の臨床保存」14:00 東洋館シアター*3
13 水	樹 13:30 浮 14:00
14 木	見学ツアー「保存と修理の現場へ行こう」13:30*3 庭 14:00 本 14:00
15 金	見学ツアー「保存と修理の現場へ行こう」13:30*3 桜コンサート 11:00,13:00 正門内池前*6 夜間開館(20:00まで) 法 15:00
16 土	建 11:00(手話通訳付) 本 12:00,14:00 樹 13:30 法 15:00
17 日	桜コンサート13:00 正門内池前*6 英 12:00 茶 12:30, 14:00 浮 14:00 考 14:30
18 月	休館日
19 火	列品解説「修理で得られる新情報」14:00 博物館でお花見を 平成館企画展示室*3 建 13:00
20 水・祝	桜 13:00
21 木	♪東博でバッハvol.12 郷古廉(ヴァイオリン)*7 本 14:00
22 金	夜間開館(20:00まで) 英 11:30 庭 14:00 考 14:30
23 土	月「東京国立博物館の建築-140年の変遷と未来への提言」13:30 平成館大講堂*3 茶 10:30,11:30,12:30,13:30,14:30 本 14:00(手話通訳付) 陶 14:30
24 日	作 13:30 浮 14:00 庭 14:00
25 月	休館日
26 火	♪東博でバッハvol.13 福田進一(ギター)*7、列品解説「考古資料の 修理と保存-土器と鉄器を例にして-」14:00 東洋館シアター*3
27 水	鑑賞ガイド「国宝 花下遊楽図屏風」10:30 東洋館シアター*6 樹 13:30 列品解説「器に咲く花」11:05 東洋館シアター*6
28 木	本 14:00
29 金	夜間開館(20:00まで) 英 14:00
30 土	桜ワークショップ「おさらば描く桜」10:00 平成館小講堂*6 桜セミナー「日本の四 季と共に楽しむ野菜スイーツ」13:30 平成館大講堂*6 建 11:00 本 14:00 庭 14:00
31 日	桜コンサート13:00 法隆寺宝物館*6 (4/14まで) ↓ (4/14まで) ↓ (4/17まで) ↓

\*1 詳細は前々号4ページ  
\*2 東京芸術大学学生によるギャラリートーク、集合場所:本館1階エントランス。  
詳細は本誌13ページ  
\*3 詳細は本誌12ページ  
\*4 詳細は本誌3ページ  
\*5 詳細は本誌13ページ  
\*6 詳細は本誌6ページ  
\*7 詳細は本誌14ページ

庭 桜 = ボランティアによる庭園茶室ツアー 集合場所:本館1階エントランス(先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布)  
建 樹 = ボランティアによるたのみの散歩ツアー、集合場所:本館1階エントランス  
作 = ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ「勾玉作り」(2/3は申込みを締め切りました。)  
作 = ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ「桜の根作り」(事前申込制。詳細は13ページ)  
桜 = ボランティアによるたんけんマップツアー、集合場所:東洋館1階エントランス  
※ 桜は「博物館でお花見を」と関連する事業です。詳細は本誌6ページ  
屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。  
月 = 月例講演会、詳細は本誌12ページ

本 本 = ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス  
浮 = ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所:本館1階エントランス  
陶 陶 = ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所:本館1階エントランス  
彫 彫 = ボランティアによる彫刻ガイド(3月は休止します)、集合場所:本館1階エントランス  
樹 樹 = ボランティアによる樹木ツアー(庭園開放時は、前庭と北側庭園の樹木をご案内します。)、集合場所:本館1階エントランス  
考 = ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口  
法 法 = ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス  
茶 茶 = ボランティアによる茶会(2月は九条館、3月は応挙館)、集合場所:本館1階エントランス(参加費500円、先着30名、開始30分前に集合場所で整理券配布)  
本 本 = ボランティアによる転庵桜茶会、集合場所:本館1階エントランス(詳細は6ページ)  
英 英 = ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所:本館1階エントランス